

開発途上国ニッポンの経験を紹介 ～静岡・牧之原台地の開墾と茶産業の発展～

JICA 中部では、3月4日（水）～6日（金）の3日間、中部地域の大学で学ぶ JICA の長期研修員（留学生）を対象に、静岡県牧之原台地の開墾の経験を中心に静岡県中西部の開発経験・産業を紹介するプログラムを実施します。

JICA では、以前から長期研修員（大学院で学ぶ留学生）の受入を行っていますが、研修員に対して、欧米とは異なる日本の近代の開発経験（明治以降の近代化）や戦後の援助実施国（ドナー）としての知見を学ぶ機会も提供しています。

今般、JICA 中部は、地域の特色ある開発の事例として、牧之原台地の開拓を中心に静岡の茶産業の発展を紹介するプログラムを実施します。

1854 年の日米和親条約で開国し、欧米の制度・技術を取り入れ近代化をすすめた幕末から明治の日本は開発途上にありました。

その中で、大政奉還・王政復古を経て静岡に移住した旧幕臣や大井川の渡船が許可されて転業を迫られた川越人足といったリストラ組によってはじめられた牧之原台地の開墾は社会変動への柔軟な対応として、また、当時横浜港からの主要輸出品としての需要が拡大していた茶を選択したことは時宜を得たマーケットニーズの把握の好事例として、開発の面から示唆を与えるものです。

2泊3日のプログラムでは、中條景昭や丸尾文六に率いられた牧之原台地の開拓や茶産業の発展についての講義に加えて、ふじのくに茶の都ミュージアムや蓬萊橋の見学も行います。

また、お茶にかかわる企業の事例としてお茶生産に関わる設備を提供しているカワサキ機工株式会社も訪問します。同社は JICA の中小企業・SDGs ビジネス支援事業を活用し、スリランカにおいて普及・実証事業も実施しています。

参加者へのインタビューも可能ですので、是非、取材をご検討ください。（英語・日本語の通訳が同行します。）

取材ご希望の方は、3月3日（火）17:00 までに以下まで問い合わせください。

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 中部 研修業務課 武長・村上 TEL 052-533-0220（平日 9:30～17:30） e-mail : Takenaga.Chihiro@jica.go.jp , Murakami.Satoshi@jica.go.jp

(取材可能な日程)

日程	時間	プログラム	場所
3/4 (水)	14:00-14:45	茶道体験	JICA 中部(和室) 名古屋市中村区平池町 4 丁目 60-7
	15:00-16:00	オリエンテーション	JICA 中部セミナールーム
3/5 (木)	9:30-11:30	牧之原開拓についての講義 (静岡産業大学総合研究所客 員研究員 中村羊一郎氏)	ふじのくに茶の都ミュージアム 島田市金谷富士見町 3053-2
	11:45-12:30	ふじのくに茶の都ミュージアム 見学	同上
3/6 (金)	9:30-11:00	カワサキ機工株式会社	掛川市伊達方滑川 810-1

※カワサキ機工株式会社の工場では、写真撮影について一部制約があります。

(関連リンク)

・カワサキ機工株式会社

<http://kawasaki-kiko.co.jp/>

・カワサキ機工株式会社が実施する普及・実証事業

https://www2.jica.go.jp/ja/priv_sme_partner/document/742/F162037_summary.pdf

(URL を直接クリックするとリンク先に飛べない場合があります。その場合は、上記 URL をブラウザにコピーいただくと参照できます。)

https://www.jica.go.jp/chubu/story/story_123_171222.html